

## 「宇都宮市役所“ストップ・ザ・温暖化”プラン」の取組状況について

### 1. 平成20年度における市の事務事業から排出された温室効果ガス総排出量

本庁舎などの電気・燃料等の使用や、清掃センターでの一般廃棄物の焼却等から排出された温室効果ガスについて基準年度と比較したもの

項目	基準年	実績値	増減量 (t-CO <sub>2</sub> )	増減率 (%)	目標値
	平成17年度 (t-CO <sub>2</sub> )	平成20年度 (t-CO <sub>2</sub> )			平成24年度 (t-CO <sub>2</sub> )
電気の使用	31,071	29,706	▲1,365	▲4.4	30,303
庁舎燃料の使用	12,961	9,200	▲3,761	▲29.0	10,156
車両燃料の使用	1,434	1,222	▲212	▲14.8	1,372
一般廃棄物の焼却	62,458	55,890	▲6,568	▲10.5	47,482
その他(※)	4,894	4,819	▲75	▲1.5	4,742
<b>合計</b>	<b>112,818</b>	<b>100,837</b>	<b>▲11,981</b>	<b>▲10.6</b>	<b>94,055(▲16.6%)</b>

(※) 下水・し尿の処理過程から排出されるメタンなど

#### 【温室効果ガス排出量の減少要因について】

＜電気・庁舎燃料・車両燃料の使用等＞

- ・ 職員によるエコオフィス活動（節電や節水などの取組）の徹底や省エネ型設備等の導入など

＜一般廃棄物の焼却＞

- ・ 一般廃棄物処理量の減少によるもの

★ 温室効果ガス削減量 11,981(t-CO<sub>2</sub>) は、一般家庭約 1,700 世帯が一年間に排出する二酸化炭素の量に相当

### 2. 平成21年度の取組

「宇都宮市役所“ストップ・ザ・温暖化”プラン」に掲げた目標である、温室効果ガス総排出量 17% 削減（平成17年度対比）等の達成に向け、平成21年度は、次のとおり実施する。

#### (1) 職員の日常業務における環境配慮

- 庁舎等におけるエネルギー使用量の抑制
  - ・ 「スイッチオフ day」の実施（H20:年3回→H21:年20回 毎月第1・第3水曜日）【拡充】など
- 資源利用の効率化の推進
  - ・ 印刷、コピー時の両面印刷、両面コピーの徹底【重点】など
- 廃棄物発生抑制及びリサイクル等の推進
  - ・ 本市が定めた「ごみの分け方・出し方」に従った分別の徹底【重点】
    - ⇒ その他の紙（メモ用紙や付箋等）の分別の徹底 など
  - ・ 職場でのマイ箸・マイバッグ等の利用促進【重点】

#### (2) 庁舎等の設備や公用車の調達における環境配慮

- 庁舎等における新エネルギー設備等の導入
  - ・ 市の施設における太陽光発電システムの導入【新規】
    - ⇒ 白沢浄水場（100kW）、（仮称）プラスチック製容器包装資源化施設（10kW）、（仮称）第3図書館（30kW）

#### (3) 市の事務事業における環境配慮

- 廃棄物発生抑制・リサイクル等の推進
  - ・ 平成22年4月から開始するプラスチック製容器包装等の分別に向けた講習会の実施【重点】など
    - ⇒ 市内全794自治会が対象

#### (4) 関連する取組

- ・ 「ライトダウン day」の実施（H20:月1回→H21:月2回 毎月第1・第3水曜日）【拡充】
  - ⇒ うつのみや夢時計、スカイブリッジ歩道橋、宇都宮城址公園、宇都宮タワー
  - ⇒ 平成21年7月から実施